



【石室へ入ってみよう】

観音山古墳は、この地域の王の墓と考えられています。

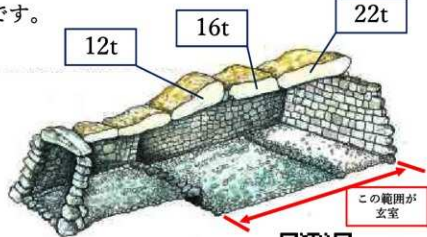
後円部の古墳中段には南西を向いた石室への入り口があります。

石室で特徴的なのはその大きさです。石室入口から奥までが約12.6m、墓の主が副葬品とともに埋葬された部屋(玄室)の長さは約8.2m、幅約3.8m、高さ2.3mで県内最大です。

天井には牛伏砂岩と呼ばれる大きな石が6個使われ、すべてが10km以上離れた場所から運ばれていたのです。

天井の石は奥から約22t、約16t、約12tもあり、運ぶのは大変だったことでしょう。

また、壁に使われた石は四角にけずられただけでなく、L字にけずられた石の存在から、当時の加工技術の高さを知ることができます。石室の中でL字にけずられた石、何個見つけられるかな。



観音山古墳
一群馬県最大の石室を見よう
https://www.youtube.com/watch?v=y_RsE_S1Vq&t=5s



Qこの石室内で見つかったもので正しいものはどれ？

- ①人骨 ②土偶
- ③金印 ④小判



参考文献&もっと勉強したい人へ

- 『東国文化図説本』 群馬県文化振興課
- 『絹貫観音山古墳のすべて』 群馬県立歴史博物館
- 『絹貫観音山古墳ガイドブック』 群馬県立歴史博物館
- 『ぐんま東国文化ものがたり』 群馬県文化振興課
- 『観音山古墳と東アジア世界』 群馬県立歴史博物館

こたえ①人骨 / この古墳の主のものと思われる

国宝は群馬県立歴史博物館で見学

観音山古墳のすごい所は、この古墳が未盗掘だった(泥棒に宝を盗まれていない)ことです。古墳に置かれた埴輪と石室の副葬品が国宝に指定されました。副葬品は群馬県立歴史博物館で見学できます。

見つかった宝物の中で、この銅水瓶は中国国内(●1)で見つかったものにととてもよく似ており、一緒に見つかった獣帯鏡は朝鮮半島内(●2)で見つかったものと同型とされています。

また、金色の大帯は観音山古墳と藤ノ木古墳(奈良県●3)、山王金冠塚古墳(群馬県)だけで見つかりました。鈴つきで豪華な大帯は観音山古墳だけの発見です。



銅水瓶発見時の様子



獣帯鏡



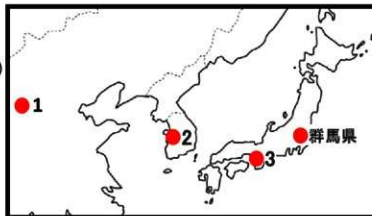
銅水瓶



金銅鈴付大帯 (右は発見時)



観音山古墳で見つかった副葬品には他にも中国大陸や朝鮮半島で見つかったものと、よく似ているものがあります。これは、墓の主が大和政権(大和朝廷)だけでなく、それらの地域と交流があった証拠と考えられます。



下のQRコードを読み込むことで、観音山古墳の『大人向け学習』を見ることが出来ます。



<https://sitereports.nabunken.go.jp/ja/106101>

これまでの発掘調査により、古墳の表面に葺石はなく、埴輪が古墳の上やまわりに並べられ古墳を飾っていたことが分かっています。石室入り口の左側には人物埴輪などが多数並べられ、古墳時代の儀式を表しているのではないかと考えられています。



下のQRコードを読みこむことで、観音山古墳の動画説明を楽しむことができます。

観音山古墳
<https://r.qrqr.com/w5moY9Bj>



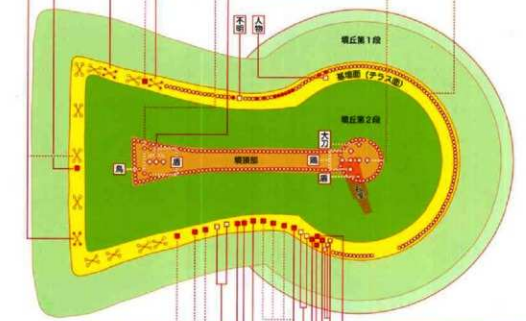
さんなんどうじょう
三人童女埴輪
(国内唯一の埴輪)



あぐた
胡坐を組み
合掌する男子埴輪



うまがた
馬子の埴輪 馬形埴輪



【記号】
 ① 埋葬施設 (石室・石棺) ② 石室 (石室) ③ 石棺 (石室) ④ 石室 (石室) ⑤ 石室 (石室) ⑥ 石室 (石室) ⑦ 石室 (石室) ⑧ 石室 (石室) ⑨ 石室 (石室) ⑩ 石室 (石室) ⑪ 石室 (石室) ⑫ 石室 (石室) ⑬ 石室 (石室) ⑭ 石室 (石室) ⑮ 石室 (石室) ⑯ 石室 (石室) ⑰ 石室 (石室) ⑱ 石室 (石室) ⑲ 石室 (石室) ⑳ 石室 (石室) ㉑ 石室 (石室) ㉒ 石室 (石室) ㉓ 石室 (石室) ㉔ 石室 (石室) ㉕ 石室 (石室) ㉖ 石室 (石室) ㉗ 石室 (石室) ㉘ 石室 (石室) ㉙ 石室 (石室) ㉚ 石室 (石室) ㉛ 石室 (石室) ㉜ 石室 (石室) ㉝ 石室 (石室) ㉞ 石室 (石室) ㉟ 石室 (石室) ㊱ 石室 (石室) ㊲ 石室 (石室) ㊳ 石室 (石室) ㊴ 石室 (石室) ㊵ 石室 (石室) ㊶ 石室 (石室) ㊷ 石室 (石室) ㊸ 石室 (石室) ㊹ 石室 (石室) ㊺ 石室 (石室) ㊻ 石室 (石室) ㊼ 石室 (石室) ㊽ 石室 (石室) ㊾ 石室 (石室) ㊿ 石室 (石室)



埴輪の種類と置立位置

団体見学や石室見学は電話(群馬県文化財保護課 027-226-4684)が県庁HPからメールで

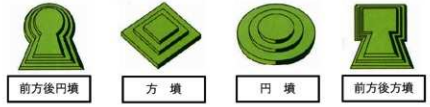
子ども向け 史跡 観音山古墳 (高崎市綿貫町)

観音山古墳は、6世紀後半(約1400年前)に造られました。観音山古墳は四角形と円形を組み合わせた前方後円墳と呼ばれる独特の形をしています。



古墳の長さは97m、前方部の幅は63.1m、後円部の直径は61mです。前方部の高さは9.1m、後円部の高さは9.4mです。また、前方後円墳の周囲には中堤を境に内堀と外堀があります。外堀まで含めた長さは推定185mになります。

古墳の形は様々ですが、右の4つの形が有名です。



群馬県では4世紀前半から前方後円墳が造られ始めます。群馬にも大きな古墳を造れるほどの勢力を持った豪族(王)がいたのです。全国各地に古墳が造られたこの時代を古墳時代といいます。

観音山古墳の南には、さらに3つ前方後円墳がありました。不動山古墳の頂上では石棺を見学できます。

